

平成26年度「全国学力・学習状況調査」検証シート

墨江小学校

児童数

107

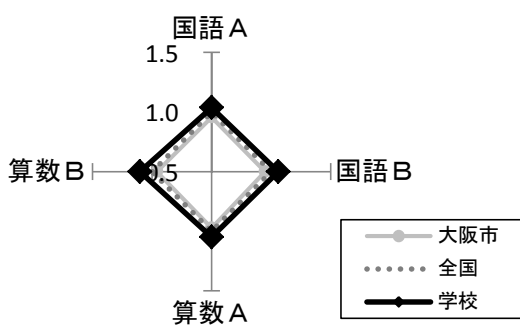
平均正答率（％）

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	72.3	55.8	79.7	61.5
大阪市	69.7	52.7	76.0	55.8
全国	72.9	55.5	78.1	58.2

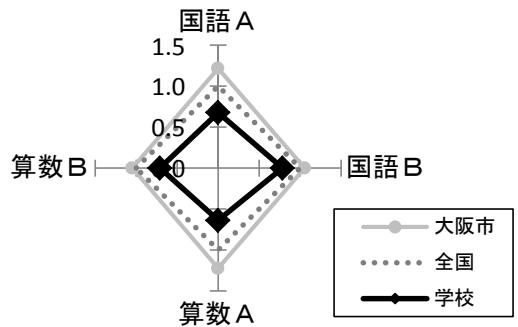
平均無解答率（％）

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	1.9	7.6	0.7	3.2
大阪市	2.8	9.7	1.1	4.5
全国	2.3	9.2	0.9	4.3

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



結果の概要

- 国語・・・すべての領域で大阪市平均を上回っている。中でも、問題A(知識)における「書くこと」「読むこと」、問題B(活用)における「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、大阪市・全国平均とも上回っている。
- 算数・・・問題A(知識)、問題B(活用)とも、ほぼすべての領域で大阪市・全国平均とも上回っている。また、学習したことを生活や学習のさまざまな場面で活用することについても定着がみられる。
- すべての領域で、無回答率が大阪市・全国平均を下回っていることから、課題に取り組もうとする意欲的な姿勢が伺われる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- 【学力の向上】 国語・算数ともほとんどの領域で大阪市・全国平均を上回っており、学力的にはがんばりがみられる。しかし、本校では、ここ数年「伝え合う力」の育成に取り組んできているものの、まだまだ自分の考えを発表したり文章に書いたりすることを苦手とする児童が多いのも確かである。今後の取り組みとしては、
- ・教育活動のあらゆる場面で、自分の考えを話したり、書いたりする場を意図的に多く持つようにしていく。
 - ・授業中、発表のしやすい雰囲気となるような学級集団づくりに今後も継続して取り組む。
 - ・学力向上の基盤となる学習規律の定着、「早寝・早起き・朝ごはん」といった基本的生活習慣の育成と家庭学習の習慣化を図っていくための家庭との連携をさらに推進していく。
- 【自尊感情の育成】 「学校に行くのは楽しい」「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」「自分にはよいところがある」という項目で肯定的な回答の割合が全国平均に比べかなり低くなっている点は重く受け止めていく必要がある。今後の取り組みとしては、
- ・子どものがんばりを認め、個々のよさを伸ばしていく。
 - ・よりよい人間関係を築いていくために規範意識を高めていく。
 - ・子どもの夢や希望に耳を傾けるなど子どもとの対話に心がけ、信頼関係を深めていく。